

講座ラインナップ

対面式講座

「現代の社会問題」と「近世から学ぶ」シリーズ

※従来どおり博物館にお越しただいで受講する対面講座です。

講座名	内容	講師	実施日
日本の自然災害と防災 / 避難文化	近年の自然災害をめぐる日本の状況と我が国の伝統的防災・避難文化のあり方について考えます。	館長 森本 理	12月17日(金)
日本の感染症克服への歩み	新型コロナウイルス感染症への関心が集まっているなか、我が国の感染症をめぐる歴史や対応策などの原点を振り返り、社会が感染症にどのように対処してきたか考えます。	館長 森本 理	12月22日(水)
江戸時代の医学	江戸時代中頃、伝統的な漢方医学と人体解剖を行う実証的な西洋医学が融合して生まれた日本独自の医学の歴史を考えます。	館長 森本 理	12月25日(土)
江戸時代の寺子屋と その日常	寺子屋は、子供に読み・書き、場所によっては算盤を教える庶民の教育施設で、江戸を初め、全国の町や村に見られました。寺子屋が江戸時代の高い識字率を支えたことなどについて考えます。	館長 森本 理	1月 8日(土)
身の回りの江戸時代	江戸時代は、決して遠い昔ではありません。江戸時代に生まれた方も、昭和の終わり頃までご存命でした。そんな身近な生活のなかにある江戸時代について考えます。	館長 森本 理	1月14日(金)
瀬戸内海の世界	明治後期、日本人は瀬戸内海の新しい風景を発見しました。その風景とは歌枕や名所旧跡を中心とした伝統的風景ではなく、多島海という近代的風景でした。その瀬戸内海の近代的風景への転換点とその意味について考えます。	館長 森本 理	1月22日(土)

「東洋絵画の魅力ー山水画から風景画へー」シリーズ

対面式講座

※従来どおり博物館にお越しただいで受講する対面講座です。

講座名	内容	講師	実施日
東洋の伝統的画題 ー山水ー	そもそも山水画はなんのために描かれたのでしょうか？山水の源流を中国古代の絵画関係の資料から読み解きます。	学芸員 島村 桂子	11月14日(日)
山水画の世界観と形式	山水画は大きく壮大なものから、手元でじっくりと眺め、その描かれた世界観を楽しむものまで、さまざまなバリエーションの作品が現存しています。山水の形式・構図・筆法の種類と歴史を紹介します。	学芸員 島村 桂子	12月19日(日)
風景画の現在	1980年代から絵画の可能性について様々な試みを追究している現代作家の山部泰司氏は、近年、東洋山水画などの名画のなかに描かれた樹木や水などを引用していくことで、重層的な風景画を描き出しています。山部氏がこれまで見てきた名画や、取材旅行で見た実景をどのように作品に昇華させてきたのか紹介し、絵画史的な視点からも「風景画」について考えます。	特別講師 画家 山部 泰司氏	1月16日(日)



「写真を考える」シリーズ

オンライン

※ご自宅からパソコンやスマートフォンで視聴できる講座です。
※詳しい視聴方法は、お申込み後にご案内します。
※当日会場（博物館）でのご参加はできません。ご注意ください。

講座名	内容	講師	公開日
「古」写真を考える	一般的な写真史を振り返りながら、古写真がもつ魅力について考えます。	学芸員 梶原 誠太郎	11月 5日(金) オンライン公開
「私」はフィールドワークで 何を撮ってきたか ー「民俗」写真とは何かー	民俗調査を行う際、写真撮影はつきものですが、何を撮ったらいいいのかはあまり議論されてきませんでした。「私」が何を撮ってきたのかをふまえて、その課題を考えます。	学芸員 梶原 誠太郎	11月19日(金) オンライン公開
写真でみる社会と博物館 ー「コロナ状況下」における現状ー	新型コロナウイルス感染症拡大のもとで、博物館はどのように変容したか、それとも変容していないのか？「コロナ状況下」における博物館について考えます。	学芸員 梶原 誠太郎	12月14日(火) オンライン公開

オンライン講座は公開日以降も期間限定で視聴可能の予定です。

講座の参加申し込み方法

往復はがき 先着順

単独・複数・全部などお好きな形で受講いただけます。
 往復はがきに「講座名・実施日（複数の講座に参加希望の場合は全て記入）、
 参加人数（1枚のはがきで3名まで）、参加者全員の氏名（ふりがな）、代表者の郵便
 番号・住所・電話番号」を明記し、下記住所までお送りください。
 オンライン講座をご希望の方は、上記に加えて、メールアドレスを明記してください。

申込み締切 各講座開講日の10日前までに必着。定員に達し次第締切ります。

申込み先・問い合わせ

〒673-0846 明石市上ノ丸2丁目13番1号
 明石市立文化博物館 文化講座係 TEL:078-918-5400

往復はがきの書き方

◇往信（おもて）	◆返信（うら）	◇返信（おもて）	◆往信（うら）
<p>63円 〒673-0846</p> <p>往信 明石市立文化博物館 文化講座係</p> <p>明石市上ノ丸2丁目13番1号</p>	<p>※返信はがきの裏面には 何も記入しないでください</p>	<p>63円 〒0000-0000</p> <p>返信 申込み方（代表者）の 住所・氏名</p>	<p>①講座名・開講日 ②参加人数 ③参加者全員の氏名（ふりがな） ④代表者の方の 郵便番号・住所・電話番号</p> <p>※オンライン講座をご希望の 場合はメールアドレスも</p>

実施日	講座名	講師
11月 5日（金）	オンライン 「古」写真を考える	学芸員 梶原 誠太郎
11月14日（日）	対面式 東洋の伝統的画題 一山水一	学芸員 島村 桂子
11月19日（金）	オンライン 「私」はフィールドワークで何を撮ってきたか —「民俗」写真とは何か—	学芸員 梶原 誠太郎
12月14日（火）	オンライン 写真でみる社会と博物館 —「コロナ状況下」における現状—	学芸員 梶原 誠太郎
12月17日（金）	対面式 日本の自然災害と防災 / 避難文化	館長 森本 理
12月19日（日）	対面式 山水画の世界観と形式	学芸員 島村 桂子
12月22日（水）	対面式 日本の感染症克服への歩み	館長 森本 理
12月25日（土）	対面式 江戸時代の医学	館長 森本 理
1月 8日（土）	対面式 江戸時代の寺子屋とその日常	館長 森本 理
1月14日（金）	対面式 身の回りの江戸時代	館長 森本 理
1月16日（日）	対面式 風景画の現在	特別講師 画家 山部 泰司 氏
1月22日（土）	対面式 瀬戸内海の世界	館長 森本 理

明石市立文化博物館

文化講座

明石市立文化博物館の文化講座は、歴史・民俗・文化などについて幅広く紹介する講座です。
 今年度は、これまでどおり博物館にお越しいただき講座に参加していただく対面式講座と、
 新たに、自宅からパソコンなどを使って、オンライン視聴できる講座もご用意しています。

対面式講座の
会場 明石市立文化博物館
 2階 大会議室

時間 13:30~15:00
 ※オンライン講座は各公開日13:30より
 視聴できます

参加費 無料
 ※講座の前後に博物館の展示を
 ご覧になる場合は観覧券が必要です

対面式講座の
定員 各回40名（先着順）
 ※オンライン講座の定員制限はありません

要申込み 申込み方法は裏面をご参照ください

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、予定を変更する場合があります。

講座のラインナップは中面へ